

岐阜経済大学・岐阜大学地域科学部・岐阜市立女子短期大学

『ふるさと多治見 & 東濃・再発見 with ユニバーシティズ』

■まちなかオープンキャンパス

大学で学ぶことは何なの？大学の先に、社会や地域で何が待っているの？こういう疑問や関心をもつ中学生や高校生へのヒントとなる大学の出張まちなかキャンパス授業です！

大学入学前の若者たちに岐阜県内の大学で学ぶ意義を伝えると共に、学んだことを活かして多治見市や東濃地域で夢を持って、豊かな地域社会の担い手に育ってもらうことを目標に、岐阜経済大学・岐阜大学地域科学部・岐阜市立女子短期大学の3大学が共同で開催する地域連携事業です。

■対象：東濃地域の中学生と高校生、一般（意欲・関心のある中高生は他地域からの参加も可能です）

■プログラム

<午前の部> 10:00-12:00 講義 & トークセッション

開会挨拶 木村隆之岐阜経済大学教授

講義1 古川雅典多治見市長「日本一アツいまち多治見の産業革命元年」

講義2 林正子岐阜大学副学長「大学で学ぶ、その魅力と醍醐味」

3大学の学生によるトークセッション

「先輩は語る、岐阜の大学ってすごい！—こんなに役立つ私たちの大学—」

<昼食> 12:00-13:00 昼食は各自お弁当を持参ください

<午後の部> 13:00-15:30 ワークショップ & フィールドワーク

ワークショップ・・・中学生は地元企業経営者とのワークショップを通じて地域再発見をめざします

フィールドワーク・・・高校生は多治見の街のフィールドワークを通して地域、大学での学びの楽しさ、深さを学びます

成果発表 ワークショップ & フィールドワーク各チームの成果発表と質疑

閉会挨拶 林正子岐阜大学副学長



日時：2010年10月31日(日) 10:00～15:30

会場：多治見市学習館（まなびパーク）+フィールドワーク

(岐阜県多治見市豊岡町 1-55 TEL0572-23-7022)



■申込み・問合わせ先：岐阜経済大学企画広報課
申し込みは郵送、FAX、emailのいずれでも、先着順で受け付け、余裕がある場合は当日参加も可能です。お申込みは個人でも、学校でまとめても結構です。
午後の申込みは先着80名(中学生50名、高校生30名)です。

岐阜経済大学企画広報課
〒503-8550 大垣市北方町 5-50
TEL: 0584-77-3534 FAX: 0584-81-7807
email: kikaku@gifu-keizai.ac.jp

後援：岐阜県・多治見市

プログラム

午前の部 10:00—12:00 講義と学生によるトークセッション

■講義1 古川雅典多治見市長

「日本—アツいまち多治見の産業革命元年」

「40.9℃の日本最高気温を記録した多治見市は、企業誘致・地場産業である陶磁器とタイルの高付加価値化・日帰り観光の強化など、税収をしっかりと確保することで教育や福祉を充実させてまちの元気を復活します。」



■講義2 林正子岐阜大学副学長「大学で学ぶ、その魅力と醍醐味」

「大学進学を控えた生徒の皆さん、生涯学習を考えていらっしゃる社会人の皆さんに、『地域学としての郷土文学研究』の意義や楽しさをお伝えしたいと思います。岐阜・東濃・多治見という『地域を学問する』魅力と醍醐味をともに味わってみませんか。」



■3大学の学生によるトークセッション

「先輩は語る、岐阜の大学ってすごい！—こんなに役立つ私たちの大学—」

午後の部 13:00—15:30 ワークショップ&フィールドワーク

■ワークショップ・・・中学生は地元企業経営者とのワークショップを通じて地域再発見をめざす

(講師) 岩村龍一氏 (株式会社コミュニティタクシー)

伊藤克紀氏 (株式会社カネコ小兵製陶所)

肥田和明氏 (株式会社 C-POWER)

「中学生の皆さんを対象とするワークショップでは、多治見市や東濃地域で「やりがいのある仕事や会社を自分の力で起こし、地域の発展や人々の役に立ちたい」と考え活躍する企業経営者の方々と意見交換会を行います。3人の講師のもとに、それぞれ10名程度に分かれてグループを作り講師の経営者の皆さんが、多治見や東濃地域で会社を起こした際の夢や苦勞、どのように人々や郷土の発展に役立っているかなどを、熱心に語っていただけます。岩村龍一さんは、多治見市で「コミュニティタクシー」を経営。2006年に経済産業省から「地域貢献賞」を、2009年には「日本タクシードライバー大賞2009」審査員特別賞を受賞されました。伊藤克紀さんは、大正10年創業の窯元の経営者で、現在土岐市で「美濃焼」を製造販売。働きやすい職場と美しい「やきもの」製造に日々挑戦しています。肥田和明さんは、多治見市でデザイン会社を経営。優れた芸術センスを磨き上げ、現代美術家協会で新人賞を受賞するなど、アーティストとしても活躍しています。この3名の優れた経営者の方々に「多治見市や東濃地域だからこそ挑戦できた起業の秘話」を、ぜひ聞いてみましょう。

■フィールドワーク・・・高校生は多治見の街でのフィールドワークを通じて地域、大学での学びの楽しさ、深さを学ぶ

(講師) 柳田良造氏 (岐阜市立女子短期大学教授)

富樫幸一氏 (岐阜大学地域科学部教授)

「街に出て、陶器のまち多治見市のシンボルとなるオリベストリート等でフィールドワークを行い、グループに分かれて街発見の成果のまとめと発表を行います。」街並み、街発見のフィールドワークにぜひ参加してみよう。

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜とは、岐阜県内の国公私立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源を有効活用することにより当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、教育活動の質保証、個性・特色の明確化に伴う機能別分化の促進と相互補完、大学運営基盤の強化等とともに、地域と一体となった人材育成の推進を図ることを目的としています。

加盟校は岐阜大学、岐阜県立看護大学、岐阜薬科大学、情報科学芸術大学院大学、朝日大学、岐阜経済大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学、中京学院大学、中部学院大学、東海学院大学、岐阜医療科学大学、岐阜市立女子短期大学、大垣女子短期大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部、中部学院大学短期大学部、東海学院大学短期大学部、中日本自動車短期大学、岐阜保健短期大学、岐阜工業高等専門学校、放送大学岐阜学習センターの21校で、岐阜県との連携の取組として行われています。

申込み用紙 (10月31日の「まちなかオープンキャンパス in 東濃」に参加します)

_____ 校 _____ 年

氏名 _____